

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 日だまりハウス別館

日付 平成20年2月6日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅時介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

リビングルームを訪れると、利用者が3つのテーブルに別れてテーブルでおやつの後
の時を過ごしている。一人の女性は、厨房で黙々と調理(手伝い?)をお昼前まで続けて
いる。「おやつの前まで、皆さんホームのお掃除をしてみましたので、おやつは今からです」
と職員さんが教えてくれた。もう11時前、「利用者の皆さん、よく働いてくれるですよ」と
説明してくれた。(お掃除の事は後述)

テレビを見ていた一人の男性に問いかけると、神主さんだった。「私は7つのお宮さんを
持っていて、そのお守りと祭礼で大変忙しい。今ここに居る訳にはいかないので、そろそろ
帰らなきゃならないのです」「家内が社務所や家でお参りに来てくれる人の相手をしてくれ
ているですよ」(奥様は特養ホームに入所中)。このホームでも、男性と言えどもよく働
いている。「私は、朝鮮に宮司として行っていました。向こうの神社は大きくてねえ…」と
淡々と詳しく教えてくれた。その話を隣の席で、半分寝たように座っていた男性利用者が
突然「わしは、朝鮮に行っていた」とぼつんと声を出す。「ええ! あんたも朝鮮にいたの
か! 初めて聞いたな」と神主さん驚いて、新しい交流が出来たら良いけれど、

よく喋っている女性に声掛けすると「私は教師をしていました」と教育論と自分の教育に
あたって来た人生歴の一部を話してくれた。保育に携わっていた人や職業についていた
女性も多い。

農業学校を出て、山の林業をしていた男性利用者も、淡々と自分の思いを語ってくれ
た。もう言葉や会話はとぎれとぎれであるが、もっと上を目指していたが、家の都合で実
現出来なかった胸の内も覗かせた。

このホームは、要介護4、5の人が6人も居て、心身共に重症化しているが、動ける人
はよく働く。食事やお茶になると厨房のカウンターに置かれた食事や飲み物を動ける人は
皆の分まで取りに来て、不自由な人にも配ってあげる。神主さんも、もうとぼとぼした足取
りであるが、同じテーブルの5人分の配膳をしている。この神主さんが自分の食事後、今
度は寝たきりの女性に食事介護を始めた。「この方は女性に親切なんですよ」と職員が
言っていたが、その介助の姿は自分の奥さんに食べさせているように「優しさ」が表情や
行動一つ一つに表れていた。

特に改善の余地があると思われる点

このホームと広い畑を挟んで、向こう側に同じ系列の日だまりハウスがある。2つの
ホームは全く同じスタイルで、まさに同一ホームのようで、利用者も職員も自由に交流し
ている。そのホームの間に社長の自宅があり、社長、管理者、職員は利用者共に本当の
家族として生活を実現している。どの人にも愛情を持って接し、家庭や病院と施設などで
歩けなくなった人、能面のような表情の人、おしめの人等人間を失いそうになった人を見
事に人間回復させ、心をつにした見事なケアをしている。しかし、こんな仕事の足跡と
職員の努力している証しが残っていないのが、残念。計画と記録の工夫もして貰いたい。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：理念に対する改善事項はない。一応理念は作り、掲示はしているが、このホームの目標とする事は、毎日の生活で既に実践済み、職員も理解して、日々の業務に携わっている。利用者や職員の表情や行動を見ていると、今更、理念の改善なんか不要と思わされた。</p> <p>2、全体的に見て…：社長が高齢者や困った人の駆け込み寺を作りたいと思っていた。茨城県の実家へ帰省した際、建築物を見るつもりで行ったグループホームやデイサービスを見学し、その時「管理者があり、法人格を持っていたら誰でも出来ますよ」と聞き、家に帰る飛行機の中で計画が出来上がったそうだ。「人間が好き」「人の子も自分の子も一緒」という基本の考えが、このホームの理念そのものである。職員には「人生とは学びに来ている。働く事で人間関係を学び体験する。修行は楽しんでやって欲しい」と、将に理念である。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：改善のしようがないと言った方が良いかもしれない。ホーム内に木をふんだんに使い、洋間と畳の間の寛ぎの場がある。外は見渡す限り、社長の実家の田、畑、山が広がり、そこからの実りの産物はホームへ。利用者は農作の仕事や収穫も出来る。</p> <p>2、全体的に見て…：和室作りのリビングルームの床の間に、神棚と天照皇大神と軸が掛かっている。このホームには、本物の神主さんが居るので、看取った時は、彼が祝詞を唱え天国に送ったそうだ。このホームの名称やエネルギーは「日の丸」で象徴されている。建設中の小規模多機能ホームも「日向(ひな)の家」であり、この地域が日向という名称である。日中は全部の人がリビングルームで過ごし、どの部屋の戸も開け放し。南の部屋の暖かい空気が廊下や北の部屋に回る。ホーム全体に暖かい空気が漂っている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることに配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせて入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：管理者は、日々の利用者への生活支援及び職員の日常業務を一生懸命している割合には、計画性や記録の中に残しておくことが不足していると自覚しており、その改善に努力していきたいと、介護計画を作るプロセスと個人記録を改善項目に選んだ。これは介護の業務の根幹であるので、他の人が楽しく見れる様子をしっかりと考えてもらいたい。</p> <p>2、全体的に見て…：このホームのケアは、一人ひとりを人間として接しており、人間として出来る事は自分でしよう利用者自身に努力して貰い、一日一日を利用者同士、地域の人と交流している。そして自分の事は出来るだけ自分でしようしている。その象徴が毎日の掃除である。自分の部屋、廊下、リビングルームの掃除を雑巾掛ける。そして、男性でも進んで仕事をする。食事が終わったら、誰に言われるでもなく、テーブルを布巾で拭きにくる。人の手伝いもしている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：特に改善項目は指摘されていない。代表者は、自分のポリシーを持って、現在のホームの持っている責任を果たしている、将来に向けてこの地域に高齢者や不自由な人に対する構想を持っている。家族総出でこの仕事に情熱を注いでいる。職員は「社長が好きだから、ここで働いている」と言う。心ある人が縁あって、職員一人ひとりが本人の意志で修行しているのだろう。</p> <p>2、全体的に見て…：家族が訪問すると、食事を用意して話を長時間して帰る。私達も最初打ち合わせに来た時、昼ご飯をご馳走になり、社長や管理者と話して、利用者と一緒に3～4時間すぐに過ぎてしまった。誰にでも、来る人は拒まず気楽に付き合えるホームである。行政の人とも遠慮なく言える関係を作っており、他の事業所の職員からも相談があり、広い範囲の人々と交流を深めている。推進会議も行政を始め、地元の広い範囲の人が集まってくれている。</p>		